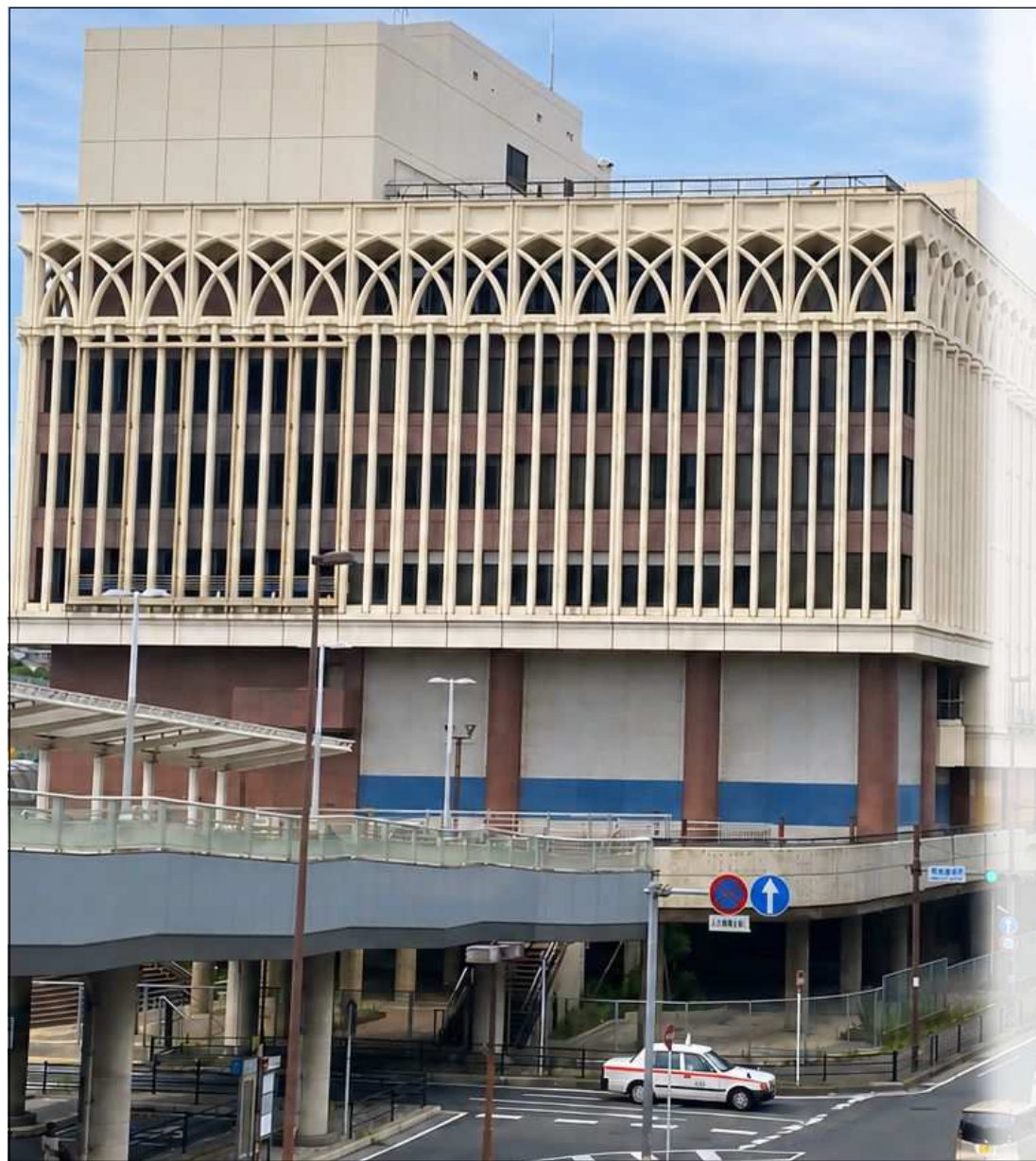




【クロサキメイト跡の再生イメージ(例)】

(例)研究・開発・教育施設のケース



(例)複合施設のケース



黒崎リバイバル：起点となるプロジェクト候補

- クロサキメイト跡再生(未来の生活モデル中核拠点)
- コムシティの機能再編(生活コンテンツの充実)
- ふれあい通りフルモール化プロジェクト
- 高質な居住空間と公園の一体的再開発(例:蛸原公園)
- まちなかりノベーション(建替え、空きビル再生)
- ウェルビーイングストリートプロジェクト
- 黒崎駅前スマートモビリティの展開
- クロサキリビングラボ(AIと介護や子育てなどの暮らしの共創と実証)

北九州市全域への波及と循環

起点エリア(小倉・黒崎)へ
戦略的に投資を呼び込む

市内各地(門司,小倉南,若松,八幡,戸畑)
に活力を生み、
暮らしの向上・経済効果を波及

北九州市全体の価値を高め、
さらなる投資と暮らしの質の向上を
呼び込む好循環を創出



民間投資促進に向けた積極的支援

主なボトルネック

事業実施における法的制限

ポテンシャルが見えづらい

事業に適した用地の確保

権利者・利害関係者が多い

打ち手の方向性

ニーズに沿った強力な制限緩和

投資価値の可視化・連動

開発用地の創出

権利者等との調整を支援

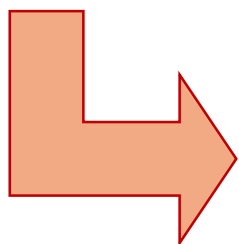
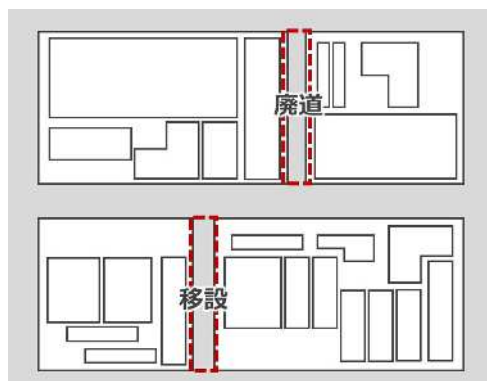
「民間投資促進パッケージ」の創設

- ▶ 規制緩和・特区活用
 - ▶ 投資に関する税制・財政措置
 - ▶ 公有地の有効活用
 - ▶ 民間開発と連動した公共投資
 - ▶ 行政の伴走支援
- など

対象エリア:小倉駅・黒崎駅から半径約1km

(例)道路再編による大街区化

道路の移設・廃道等を柔軟に検討し、
大街区化・高度利用を促進。

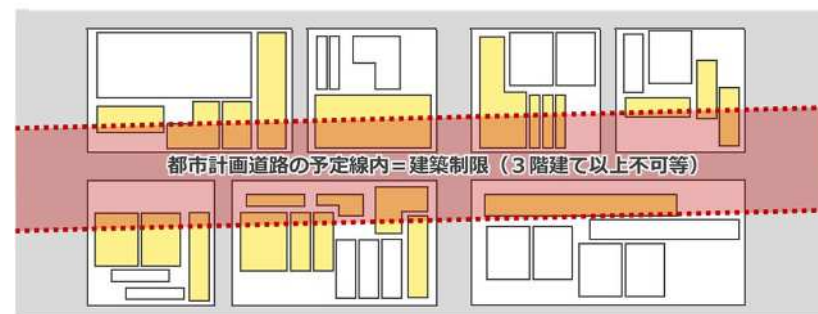


(例)フィジカルAI実装促進に向けた 公道利用条件の緩和(国に提案中)

特区活用により、車両型だけでなく、人型
や動物型などのロボットも公道で実証可能。

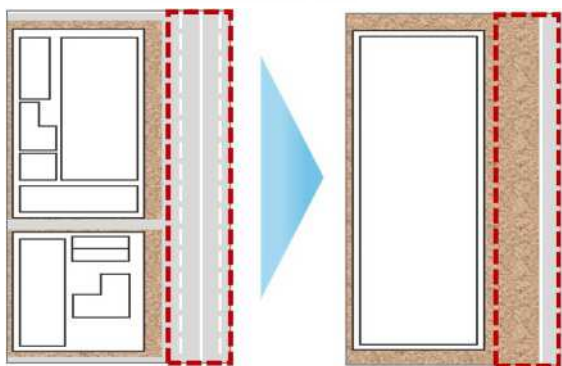
(例)都市計画道路の再編

都市計画道路の見直し（変更・廃止等）
により開発を促進。

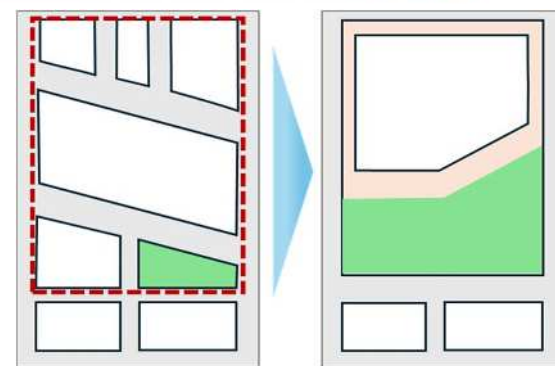


(例) 開発効果を高める公共施設整備

車道を歩道に転換し、
歩きたくなる街並みを整備。



道路・公園・住宅を一体とし、
エリア全体の価値向上を目指す。



目標年次と民間投資規模

- ▶ 目標年次は2043年(市制80周年)
- ▶ 目標投資規模は民間を中心に約1兆円
※小倉・黒崎(駅周辺)

戦略策定の進め方

- ▶ **今年度中にとりまとめを実施**

有識者、民間事業者、市民の意見を聞きながら議論を深める

- ▶ **本戦略のもと、官民一体となりプロジェクトを起こす**

(仮称)次世代まちづくり構想会議(8～9月に設置予定)



北九州商工会議所
会頭 津田 純嗣



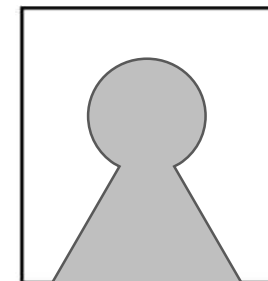
北九州市立大学
学長 柳井 雅人



九州工業大学
学長 安永 卓生



公益財団法人
アジア女性交流・研究フォーラム
理事長 大島 まな



市民/若者



日本製鉄株式会社
常務執行役員
九州製鉄所長 中田 昌宏



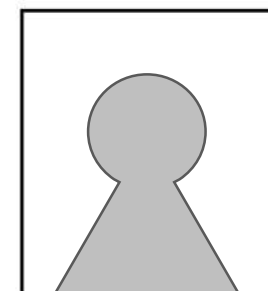
TOTO株式会社
代表取締役会長 清田 徳明



株式会社安川電機
代表取締役会長
兼社長 小笠原 浩



九州旅客鉄道株式会社
相談役 唐池 恒二



市民/若者

※このほか、市民・各層へのヒアリング等を実施

Kitakyushu
Action!

動かせ、未来。北九州市